

患者さんを家族のように愛する・いい医療をより多くの患者さんへ

奈良県西和医療センター情報誌

ファミリー

～みむる～

復刊
第2号
平成28年
11月



ふれあい祭りコンサート9.17

ご挨拶

新着情報

診療科紹介:腎臓内科

病気のはなし:CKD

各部門情報:透析室

:放射線部

西和医療センターだより

公開講座案内



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター

Nara Prefectural Seiwa Medical Center

新病院長からご挨拶



地方独立行政法人
奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター
院長 横山和弘

この度、平成28年10月1日をもちまして、奈良県西和医療センター院長に就任いたしました横山和弘です。院長就任後間もない時期ですが、当院の医療レベルは他のどの病院にも引けをとらないものと確信いたしました。この「いい医療をより多くの患者さんへ（診療理念の一つ）」を提供するための一手段として、奈良県西和医療センター情報誌「ファミリー～みむろ～」が平成28年8月に復刊されました。今回は第2

号です。平成28年4月に開設された腎臓内科の紹介およびその科に関連した腎臓病の話、さらに人工透析室からの情報や放射線科からの最新型CTの説明などが掲載されています。

今後、「ファミリー～みむろ～」を通して、当院の診療内容、診療体制、取り組み、行事など様々な情報を発信する予定です。これらの情報から少しでも地域住民の皆様方の健康に貢献できればと願っています。



新 着 情 報

11月18日(金) 災害訓練を行います。

阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震を教訓に、災害時の初動体制を含めた傷病者の受け入れの訓練を行います。外来の患者様には御迷惑をおかけいたしますが、御協力お願い致します。



退院後訪問指導に行っています。

平成28年度から当院を退院された方で、一定の条件にあてはまる方に当院退院後、1カ月の間に限り看護師による退院後訪問指導を行っています。地域の訪問看護ステーションのスタッフと一緒に伺いすることもできます。



住み慣れた家に退院される方に、
看護師がお宅を訪問して
心身の回復をサポートします。

腎臓内科の診療体制が充実しました!!

<腎臓内科の開設>

平成28年4月に腎臓内科を新たに開設しました。
平成28年7月からは腎臓内科医が2名→3名に
増員、より充実した診療体制になりました。

日本腎臓学会腎臓専門医

日本透析医学会専門医

総合内科専門医が診療にあたっています。



<診療の内容>

腎臓内科では、おもに腎臓の病気をみます。

病気としては、腎炎や腎不全が中心になります。

診療は、内科的診察や超音波・CT・MRI・血液・尿検査に加え、確定診断を目的に積極的に超音波ガイド下腎生検を行っています。

その他に、血液透析や腹膜透析などの腎代替療法を担当しています。アフェレーシスなどの様々な血液浄化療法にも取り組んでいます。

<CKD (慢性腎臓病) 教育入院を始めました>

腎不全の進行を遅らせることや、腎代替療法への理解を深めることを目的に、CKD教育入院を行っています。

<診療日は外来診療担当表を参照して下さい>

外来診療を月曜日から金曜日まで毎日、腹膜透析外来を水曜日と木曜日の午後に行っています。血液透析は月曜日から土曜日まで行っていますが、緊急症例に対しては休日や夜間にも対応できる体制を整えています。

検診で蛋白尿や腎機能の低下を指摘された方
腎臓の病気は早期発見・早期治療が大切になります!
ためらわず気軽にご相談下さい。



病気の話

腎臓について

① 腎臓ってどんな臓器？

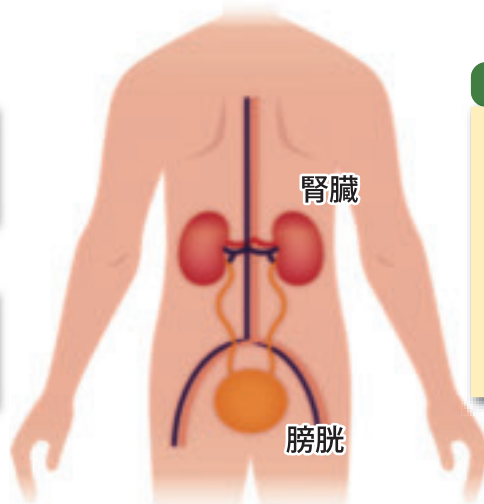
腎臓は尿を作り出し、体の環境を整える重要な役割を担っています。

場所

腰のやや上部に、背骨をはさんで左右にあります。

大きさ

ソラマメのような形で、こぶしサイズの大きさです。



役割

血液から老廃物を取り出し、尿として排泄します。

体の水分量やミネラルのバランスを調整し、体内の環境を整える働きをしています。

また、ホルモンを分泌して、血圧や赤血球の量を調節します。

② 慢性腎臓病 (CKD) ってどんな病気？

慢性腎臓病は、腎臓本来の働きが徐々に悪くなっていく状態です。検査では、下記のような状態が確認されます。

尿に異常がある

eGFR (ml/分/1.73m²)
60未満[※]

※eGFR (推算糸球体濾過量)：腎機能を表す指標です。正常値は90以上とされています。

いずれか、または両方が3ヵ月以上続く状態なら、**慢性腎臓病 (CKD)**と診断します



日本では成人の8人に1人は慢性腎臓病といわれています

慢性腎臓病を放置しておくと、将来は腎機能が廃絶して透析療法が必要になることがあります。また、慢性腎臓病患者さんでは、脳卒中や心筋梗塞の発症率は高くなることが知られています。**検診などで異常を指摘されたことがある方は、出来るだけ早期に受診して下さい。**

透析室

透析ってどんな治療？

透析には大きく分けて2つの治療方法があります。

血液透析

血液を体の外に引き出して、人工腎臓を通過させて血液から水分と老廃物を取り除いてきれいにします。

- ☆週に2～3回、4～5時間の治療が必要です。
- ☆血液透析を行うためのシャントと呼ばれる血管を手術で作る必要があります。



腹膜透析

おなかの中に透析用の液を入れて、腹膜を使って自宅で行うことができる透析治療です。

- ☆透析液の交換は自宅でも職場でも可能です。
- ☆通院の回数が少なくて済みます。
- ☆液の交換は30分程度かかります。
- ☆腹膜透析を行うための管をおなかに手術で植え込みます。



透析室って何するところ？

透析室では、主に約20名の維持透析患者様の血液透析・腹膜透析、および入院・手術治療を必要とされる患者様の血液浄化・血漿交換・血液吸着などの専門的治療を、365日24時間体制で行っています。

地域の皆さまの健康維持のために…

地域の医療機関との連携を図りながら、生活習慣病のひとつである、慢性腎臓病（CKD）の進行をできるだけ遅らせるためには…。

その方法を各専門家がご提案！

食事・薬・運動など日常生活のご指導をさせていただく『CKD教育入院』を行っております。腎臓に不安を感じられたら、お気軽にご相談ください。



今年度から新しい部長を迎え、
スタッフも増えて新体制でスタートを切りました。

放射線科

最新型CT稼働中!

昨年夏に2台目のCT (Aquilion ONE VISION) を導入しました。

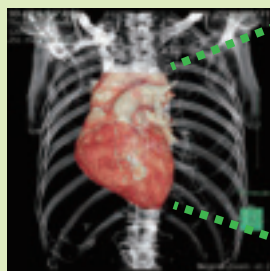
16cmの範囲を一回転で撮影でき、一回転にかかる時間は世界最速の0.275秒です。

開口径も大きくなり、楽な姿勢で検査を受けていただけます。



心臓CT

拡大図



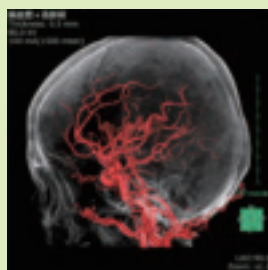
こんなに冠動脈がくっきり見えます

これまでの64列CTは息止め時間が約15秒必要でしたが、新しい320列CTでは約5秒で撮影可能です。

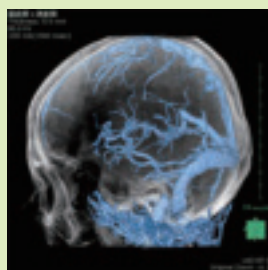
常に動きのある心臓・循環器領域での検査に大変効果があります。

また被ばく線量・造影剤量の低減にも繋がっています。

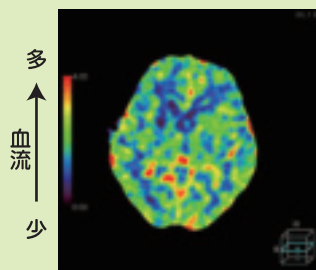
脳血管CT



動脈の3D画像



静脈の3D画像



脳の血流評価画像

高速連続撮影による時間変化の観察で、血流動態を評価できます。

脳神経外科領域においては、従来の3D評価に時間的要素を加えた、4D評価が可能となりました。

血流をカラー画像で表しています。血流は時間と共に変化します。この画像では、左右で色の差が見られないので、異常はないという診断になります。

これからも質の高い医療を提供できるよう努力してまいります。

●西和医療センターだより●

9月17日(土)に 「ふれあい祭り」を行いました

せんとかんと一緒にコンサートを楽しんだり
普段とは異なる病院の姿を楽しんで頂きました。



入口の風景



真ちゃん・和ちゃん



せんとかんも参加



ふれあい祭 公開講座

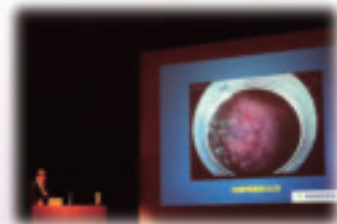
大和川メディカルアカデミー (YMA) を開催しました

10月15日(土)に
王寺リーベルホールにて地域の開業医の先生方と共に合同の医学会を開催しました。西和地域の医療の質向上の一助になれるように努めていきたいと思っております。



地域密着型住民公開講座を 開催しました

場所:上牧町保健
センター



時間:10月6日14時～

くずもとファミリークリニックの葛本院長から「大腸がん健診における大腸CTの役割について」講演を行っていただきました。当院からは消化器内科、吉田部長の「早期胃癌:内視鏡治療の最前線」と題してお話させていただきました。地域の方々約40名に参加していただきました。

西和病院間連携フォーラムを 開催しました

奈良県内の地域医療の充実と向上を目指して、10月6日(木)に奈良ホテルにおいて、西和病院間連携フォーラムを開催しました。当院を始め地域の11病院が集まり、講演および各病院の特色について発表を行いました。それぞれの病院との情報交換や連携を深め、今後の地域医療連携について話をする事ができました。



●公開講座案内●

地域住民の方へ

地域密着型住民公開講座のお知らせ

1月12日(木) 14:00~15:30

地域で守るみんなのからだ

場所:奈良県平群町 プリズムへぐり

講演テーマ・講師

「喫煙と生活習慣病～禁煙治療～」

松井内科 院長 松井一哲先生

「慢性腎臓病と生活習慣」

西和医療センター

腎臓内科部長

濱野一将



医療職の方へ

地域医療連携講座(当院にて)のお知らせ

11月17日(木)

褥瘡(とこずれ)対策について
緑内障について

12月 8日(木)

婦人科腫瘍の診断と治療
妊婦と薬剤

1月19日(木)

結核とMAC

※詳しくは
お問い合わせ下さい



<当院へのアクセス>



病院前道路からのview

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しています。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしています。詳細は地域医療連携室へお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 平成28年11月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 患者支援センター

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354

